

# 環境美化へステッカー

県産業廃棄物  
協会青年部会 津建設会館に贈呈

【津】社団法人県産業廃棄物協会青年部会（伊藤靖則会長）は三十日、津市島崎町の津建設会館を訪れ、津市内の建設業者に環境美化を訴えるステッカーを呈し、協力を呼び掛けた。

「ゴミゼロ（530）の日」と語呂合わせする五月三十日に合わせた活動で、他業種へのステッカーの配

布は昨年続き二回目。この日は伊藤会長ら部会の五人が、社団法人県建設業協会津支部の後継者らでつくる津建設青年会議の池田和司代表幹事と、同協会一志支部青年部会の西川毅部会長らを訪ねた。

伊藤会長は、「ごみを再生し資源をリサイクルする者として、地味ではあるが他団体に協力を呼び掛けた」と、青に黄色で空き缶のイラストと「530ゴミ」の文字の入ったステッカーを、池田代表幹事と西川部会長に、それぞれ八十枚ずつ手渡した。



ステッカーを手にする（前列左から）伊藤会長、西川部会長、池田代表幹事―津市島崎町の津建設会館で

池田代表幹事は、「廃棄物の多い時代、啓蒙活動を通じてクリーンな地球にしていければと思ふ。事務所など目立つところに張らせてもらいます」と、話していた。

平成21年5月31日  
伊勢新聞

1400人

0745-858-8  
81-8

贈られた啓発ステッカー



# ゴミゼロの日にちなみ ステッカーを寄贈

県産廃協 津建設青年会議などに  
青年部会

五月三十日のゴミゼロの日にちなんで、県産業廃棄物協会青年部会が津市島崎町の津建設青年会議所にて、環境デザイン。百六十枚を



「530（ゴミゼロ）」のステッカーを手渡すメンバーら。津市島崎町の津建設青年会議所にて。

美化を呼び掛けるステッカーを県建設業協会の津建設青年会議所と一志支部青年部会に贈った。

ステッカーは昨年から配布を始めた。空き缶が描かれ「ちょっとポイ捨てやめとこにい」と三重弁で訴える。百六十枚を事務所や車両など目立つ場所に張ってもらい、ごみの適切な処理を訴える。県産業廃棄物協会青年部会の伊藤靖則会長は「他業種の青年部との横のネットワークが必要」。受け取った津建設青年会議所の池田和司代表幹事も「リサイクルや環境問題が注目されている

ので、協力していきたくらいと応じていた。  
(吉田優美恵)

平成21年5月31日  
中日新聞

市島崎町の津建設青年会議所にて